

# 令和8年度中小企業等DX総合支援事業委託業務に係る提案競技審査委員会審査基準

## 1 業務委託候補者決定方法

- ・契約限度額の範囲内の価格をもって有効かつ審査委員会が評価項目ごとに定めた審査
- ・基準をもとに採点した結果、最も得点の高い1者を業務委託候補者とする。

## 2 審査基準

区分	No	評価項目	評価内容	配点	
事業理解・全体設計	1	事業目的の理解と全体設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の目的（県内中小企業等のDXの具体的開始及び将来的な自走化）を正確に理解しているか。</li> <li>・窓口、伴走支援、補助金、データ経営支援、人材育成、成果発信までが一体的に設計され、年度内に成果を創出するロードマップが示されているか。</li> </ul>	15	15
	2	相談窓口の運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付から課題整理、案件化、DXコンサルタントへの接続までのフローが具体的か。</li> <li>・相談内容の記録・進捗管理・情報共有（CRM等）の方法が明確であり、安定的に運営可能な体制となっているか。</li> </ul>	10	
仕書書に基づく業務提案内容	3	DXコンサルタント体制・伴走支援の実効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXコンサルタントの人材像、確保方法、稼働設計が現実的か。</li> <li>・年間150件程度の案件に対応できる体制（DXコンサルタントの人選案、選定方法）が整っているか。</li> <li>・企業の課題整理から実行支援、効果検証、自走化までのプロセスが具体的に示されているか。</li> </ul>	15	65
	4	デジタルツール導入補助金事務支援の適正性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金申請受付から審査補助、実績報告支援、支払手続支援までの事務フローが整理されているか。</li> <li>・想定件数（100社程度）に対応可能な処理体制及びミス防止の仕組みが整備されているか。</li> </ul>	8	
	5	データ経営高度化・自走支援の具体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『見える化→分析→改善→定着』の支援内容が具体的か。</li> <li>・成果指標の設定方法及び支援前後比較の仕組みが明確であり、自走化につながる設計となっているか。</li> </ul>	8	
	6	支援機関向け人材育成の実効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工団体及び金融機関職員等を対象とした育成プログラムが実務に直結しているか。</li> <li>・単なる知識習得にとどまらず、支援現場で実践可能な内容となっているか。</li> <li>・育成後の支援体制への参画に向けた仕組みが示されているか。</li> </ul>	8	
	7	DXセレクション及び成果発信の企画力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・候補企業の発掘方法、事例整理の内容、成果報告会の企画・運営方法が具体的か。</li> <li>・県全体への波及効果を意識した発信設計となっているか。</li> </ul>	8	
	8	関係機関との連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関、商工団体、大学、ソリューション企業等との連携方法が具体的か。</li> <li>・案件創出及び実装につながる仕組みが整備されているか。</li> <li>・公平性・透明性に配慮された連携体制となっているか。</li> </ul>	8	
実施体制・遂行能力	9	実施体制・プロジェクト管理能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を遂行するための実施体制が具体的に構築されているか。</li> <li>・責任者の配置、役割分担、工程管理、品質管理、県との連絡調整体制、リスク管理及び改善対応の仕組みが明確に示されているか。</li> </ul>	5	10
	10	類似業務の実績及び組織的遂行能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に実施した類似業務（相談窓口運営、伴走支援、補助金事務、研修運営、イベント運営等）の実績があり、本事業を安定的に遂行できる組織的能力を有しているか。</li> </ul>	5	
経費の妥当性及び競争性	11	経費の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容に対する積算根拠が明確であるか。</li> <li>・人件費、外注費、管理費等の内訳が合理的であり、過度に安価又は過大な積算となっていないか。</li> </ul>	5	10
	12	見積価格の競争性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見積価格について、提案者間の価格を比較し、相対評価により点数を付与する。</li> <li>・次の算式により得点を算出する。</li> </ul> <p>&lt;算式&gt;</p> $\text{価格点} = 5 \times (\text{最高見積額} - \text{当該見積額}) \div (\text{最高見積額} - \text{最低見積額})$ <p>※最低価格=5点、最高価格=0点 ※提案者が1者であり、比較対象が存在しない場合は当該項目を勘案せず、前段（経費の妥当性）を10点として採点するものとする。</p>	5	
計				100	

## 3 企画提案の採点

- ・提案書等に記載された内容について、審査基準表により審査を行う。

## 4 採択基準

- ・審査会での採点結果が6割以上のものを対象とする。